受注者向け 新技術情報提供システム説明会

NETISシステム操作マニュアルについて



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism #V/xv/x#Jhj lrqdd#Ghyhcrsp hqw#Exuhdx







活用効果調査表作成 改良前と課題



施工者から	不慣れな者にとっては記載に迷う場合が	発注・技術
みた課題	ある	事務所からみた課題

提出が集中した場合は、調査表確認や集 計管理が困難

→再提出には何人もの関係者 修正依頼↔ を経由する必要があり、状況把握が困難



関係者間の受け渡しファイルは、NETISに 取り込まないと見ることが出来ない

確認・修正が不十分な場合、評価段階(数 年後)になってから修正必要となる場合も

活用効果調査表作成 改良内容 ※イメージ画像





工事 / 業務 の別	計画書の提出	調査表の提出 (発注者)	調査表の提出 (施工者)	調査表の種別
▼/▲		▼/▲	▼/▲	▼/▲
工事	<u>提出</u>	未提出	未提出	未評価
工事	<u>提出</u>	<u>提出</u>	<u>提出</u>	未評価
工事	<u>提出</u>	未提出	<u>提出</u>	未評価
工事	<u>提出</u>	提出	<u>提出</u>	未評価
1.				

✓ ID・PW付与時点で管理表を自動作成✓ 進行状況をリアルタイム表示

国土交通省

九州地方整備局

活用効果調査表作成 改良内容(詳細1) ※イメージ画像 2 丸州地方整備局

<u>活用効果調査オンライン入力登録システムの構築</u>

施工者及び監督職員がWEB画面上にて調査表(計画書含む)を入力し、直接登録できる機能を構築。



活用効果調査オンライン入力登録システム画面

活用等の型は、要選択!

活用効果調査表作成 改良内容(詳細2)



活用効果調査表記入内容のチェック機能の構築

未入力箇所や、評価内容の不整合箇所を注意喚起するチェック機能を構築。(技術事務所の内容 確認作業を省略)





記入内容チェック機能イメージ

活用効果調査表作成 改良内容(詳細3)



<u>チャットボット機能構築</u>

申請時の質問にロボットが自動で回答する機能を構築。



活用効果調査 改良により期待される効果



✓ 作業の削減・簡略化により、全関係者の生産性を向上。(官側の集計作業に効果大)

- ✓ 技術の活用状況の早期把握や調査表の精度向上により、事後評価の早期実施や 適切な評価の実施に寄与。
- 全てデジタルデータとなることで、様々なデータ利活用が可能となる。

国土交通省

活用効果調査表の改良 <R4.7.28より運用開始>



【R4.7.28~ 本運用】

- 1.事務所監督員が調査表入力後、所定の処理。
- 2. 中間確認者(開発建設部、外部委託者)or最終確認者(本局、技術事務所)に確認用メールが自動通知。※地整の設定による。
- 3. 中間確認者は、確認用ページにIDPWログインし内容チェック〔一次確認〕。内容に問題なければシステムにて確認済登録。最終確認者へ自動通知。
- 4. 最終確認者が確認用ページにて内容確認後、システムに登録〔最終確認〕
- 5. 差し戻しは、確認用ページにて、各段階で可能。差し戻し先は前決裁者。
- 6. 決裁ルートは地整毎に複数設定出来る仕様とする。



国土交通省

九州地方整備局



ID/パスワードの申請について

ID・パスワードは1工事・1技術毎に必要となります。









- 様式3:詳細説明資料(xlsxファイル)
- 様式4:比較表 (xlsxファイル)

8

記入例

Ļ

ダウンロード

登録済みの申請情報を変更・修正する場合は様式 |-15を作成して ください。

🐻 様式 | -15 申請情報の変更・更新申請書



事後評価に必要な申請書等です。「公共工事等における新技術活用システム」運用マニュアル等を確認して下さい。



※港湾技術の活用効果調査表については港湾NETISページから作成してください



様式Ⅲ-13:試行調査表(xlsxファイル)



活用効果調査表の作成・登録

対象技術 QS-210068 対象技術名 パワーブレンダー工法 (ICT施工)

ログインID		
パスワード		
ログイン	キャンセル	

ログインID/パスワードをお持ちでない方はこちらから





ログインID/PW新規登録フォーム

活用効果調査票の作成・登録に必要なログインID/パスワードを新規発行します。

以下の内容を入力の上送信してください。

調査票を作成する新技術のNETIS番号 QS-210068



監督職員へ確認メールを送付します。

確認が取れ次第、ご指定のメールアドレスへID/PWのお知らせメールが届きます。



ログインID/PW新規登録フォーム

活用効果調査票の作成・登録に必要なログインID/パスワードを新規発行します。

以下の内容を入力の上送信してください。

調査票を作成する新技術のNETIS番号 QS-210068



監督職員へ確認メールを送付します。 確認が取れ次第、ご指定のメールアドレスへID/PWのお知らせメールが届きます。 申請 キャンセル

申請

ID/パスワード発行のお知らせメール



活用効果調査表の作成・登録

対象技術 QS-210068 対象技術名 パワーブレンダー工法 (ICT施工)

ログ・	インID		ID・パスワード の入力
パスワ	フード		
	ログイン	キャンセル	

ログインID/パスワードをお持ちでない方はこちらから

新規登録をお願いします。

ログインIDパスワードを新規登録

計画書の作成画面



活用等の型の選択について



【活用前】 新技術活用計画書における留意事項

【新技術活用計画書】

///			- ,						
NE	TS 新技術 NEW TE	情報提供シスラ CHNOLOGY INFOR	MATION SYSTEM						
新技術 の検索		登録申請書作成 舌用効果調査表作成		テーマ設定型 の比較表	7	ッチング	維持管理技術 ページ		
画面を閉じる 一時	保存 印刷・ブレビ:	1- 登録			120 分で 作成の:	でタイム 都度、一	アウトします ·時保存を行・	ってく†	ださい。
※120分間でタイムアウトしま ・登録内容に関するお問 ・システム操作方法に関	kす。作成の都度、一開 問い合わせはこちら 問するお問い合わせ	保存を行ってくださ 。 けはこちら	い。一時保存は画面	上部メニュー「一日	特保存」から行えます。				
登録番号	-	A ~							
新技術名称									
比較する従来技術									
組織機関名		~			動で人力	されます	-		
部署・事務所名 💙									
工事名)						
活用等の型				「活月]等の型]	を選択	してください		
新技術活用計画書	実施報告書	活用効果調査者	辰(施工者用) 						
クリック 記入完了 ※下記項目の記	入が完了したら、チェ	ックを入れて下さい	. →	計画書	書の全ての 、完了した)項目の言	記入が完了し	たら、	
作成日						-/ _ / .		V '0	
受注者名									
契約額(円)									
工事期間		~	**						
新技術施工期間		~	m						
施工場所									
活用理由 ※チェマ	ックボックスにチェッ	クがない場合、入力:	されたコメントはNE	TISに登録されませ	<i>к</i> .				
※ナエ :	ックホックスにチェッ:	2かある場合、コメ:	ント欄は人力必須です	۰ •					
	経済性								
	T #0								
	工任								
0.	品質・出来形								
							従来技術。	と比べて	て、向上する
0	安全性					ح	活用理由で	を記入し	してください
01	施工性								
	環境								
	その他 ()							
								6	•
	この件 (,							

活用効果調査表システムの改良について



VE技術で活用効果調査表を作成する場合は、新技術活用計画書の記入のみとなりました。

NETISシステムの改良に伴い、VE技術において実施報告書のタブが非表示になりました。 今まで実施報告書の概要欄の記入についてご協力頂きありがとうございました。



【活用後】「A・VR」 実施報告書作成における留意事項

		O ELIKIN	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	->	×		
画面を閉じる 一時) (二) (ビ) (ビ) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C	11 作	20分でタイム =成の都度、-	アワトしま −時保存を [:]	す。 行ってくだ	さい。	
120分間でタイムアウトしま 登録内容に関するお問 システム操作方法に関	f。作成の都度、一時保存を行ってください。一時 い合わせはこちら するお問い合わせはこちら	保存は画面上部メニュー「一時保存」カ	ら行えます。				
登録番号	- A ~						
新技術名称							
比較する従来技術							
組織機関名	~						
部署・事務所名 ∨ ⊤事名							
活用等の型	~						
		₩NE ΓIS†	青報等の添作	すは必要あ	りません。	2	
_							
	2011						
		技術の活用征	多は、 実育	施報告書			
Z							
7	・「A・VR」 と調査表の	作成・登録し	こなります	0			

	る田心宇久	
施報告書】 「💵	」技術は、実施報告書の登録が不要です。	
用計画書 実施報告書 活用効果調査	^{全表} (施工者用)	
クリック ※下記項目の記入が完了したら、チェックを入れて下:	○ 「A・VR」技術は、実施報告書の全て たら、「記入完了」にチェックしてく	の項目の記入が完了し
工概要 内容 全角1000文字以内。		
工事全体の内容を	を記入してください。	
[誤字チェック] 凡例: <mark>チェック対象</mark>	<mark>文字</mark> . 修正候補	
誤字・脱字チェックの結果をここに	:表示します	
対象数量 全角127文字以内。		
新技術の対象数量 (NETIS申請情報 てください。)	量を記入してください。 の「活用効果の根拠」を参考に単位等を合わせ 	
[誤字チェック] 凡例: <mark>チェック対象</mark>	<mark>文字</mark> , 修正候補	
誤字・脱字チェックの結果をここに	ニ表示します	
新技術使用箇所 全角127文字以内。		
誤字チェック 凡例: <mark>チェック対象</mark>	文字. 修正候補	_
誤字・脱字チェックの結果をここに	表示します	 □ A·VR」:
施工(活用)概要資料 ※活用概要う	データを添付してください。	洋田体にヨユーマノ
ファイルをドラッグ&ドロップし てください。または		活用後に記入してください。
ファイルを選択 選択されていません		
現場施工条件 各全角1000文字以内。	a 20	
●現場条件	●周辺状況(病院、学校、鉄塔の有無等) ●自然環境(騒音、振動、水質等)	
誤字チェック 凡例: <mark>チェック対</mark> 修正候補	象文字. 誤字チェック 凡例: チェック対象文字. 誤字チェック 凡例: チェック対象 修正候補 修正候補	<mark>象文字</mark> .
誤字・脱字チェックの結果をここ します	:に表示 誤字・脱字チェックの結果をここに表示 誤字・脱字チェックの結果をここ します します	に表示
障害 施工上で重大な障害や問題が生じまし ○無 ○有 チェックを外す	たか。	
障害の内容 金角127文字以内。		
		~~
誤字チェック 凡例: <mark>チェック対象</mark>	文字,修正候補	
誤字・脱字チェックの結果をここに	表示します	
業環境 ○陸上作業 ○水上作業 ○地下作	F業 ○水中作業 ○高所作業 ──ェックを外す	

😫 「A・VR」 新技術活用調査表作成における留意事項(1/2)



【活用後】 「A・VR」 新技術活用調査表作成における留意事項(2/2)

環境	効果調査	優れていた点		総合的所見	NETIS掲載情報の『期待される効果』に対	対して、活用した結果はどうでしたか		
	従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる	□ 田辺理想。小影響/士言、上線、北層海流)北近小! 4.5.6	【 環境 の評価】		優れていた所 全角1000文字以内。			-
	01 02 03 04 05	同辺保売への影告(人気・工業・小員)与来のが減少したため 目脳音・振動・粉厚等作業環境が改善したため						
	◉ 当該技術に関連しない項目である	□周辺の自然・生態環境・景観との調和が向上したため	・定性的5段階評価をお					d
	コメント 全角1000文字以内。	 ・ ・ ・	願いします。			ter T to te		
		□ 省エネルギー・省資源化が向上したため			語子チェック 凡例・チェック対象文子。	除止疾病		
		劣っていた点	・コメントは必ず記入し		誤字・脱字チェックの結果をここに表示	します		【縱合的武日】
			てください(「当該技		劣っていた所 全角1000文字以内。			【称"百"的所 兄】
		周辺環境への影響(大気・主壌・水質汚栗)が悪化したため 脳音・振動・粉度等作業環境が悪化したため	術に関連したい項目であ				<u> </u>	
		□周辺の自然・生態環境・景観との調和が低下したため						メントは必り記入し
		産業廃棄物の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため)			誤字チェック 凡例:チェック対象文字。	修正候補		てください。
		□ 省エネルギー・省資源が低下したため	メンドレビマルさい。)		経営・脱業チェックの結果をここに表示	1.82		1
					報告する所 수용1000文字以内			
		, ,			ELECTION EPICONCLUTE			1
	調字チェック 凡例: <mark>チェック対象文字</mark> ,修正候補							
	誤字・脱字チェックの結果をここに表示します							a ا
					誤字チェック 凡例: <mark>チェック対象文字</mark> 。	修正候補		
上記項目の他に	評価事項がある場合は本項目にて評価を行って下さい。優れていた点、劣・	っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。			誤字・脱字チェックの結果をここに表示	します		
その他	タイトル 全角20文字以内。		【この供】					
			ての他		当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する	る従来技術」は適切でしたか		
	効果調査		前半の6百日以外本新た		○適切であった ○適切でなかった			
	従来技術より劣る 同等 従来技術より使れる				適切でなかった場合、どんな従来技術と比	比較したらよいか、従来技術名を記入して下さい	金角127文字以内。	
	1 2 3 4 5 単軟并級に関連したい項目である							
			記入者が判断した場合は、		今後、当該技術を活用できる工事の場合に	に活用しますか		
			その他の項目に記入して		○今後も是非活用したい ○活用を検討	したい ○場合によっては活用することもある	○技術の改良を強く望む	
			くたさい		理由 全角127文学以内。			7
					[誤字チェック] 凡例: チェック対象文字,	修正候補		
					誤字・脱字チェックの結果をここに表示	します		
					当該技術について改良点・要望・その他は	ご意見ありましたら自由に記入して下さい 全角	1000文字以內。	
	[誤字チェック] 凡例: <mark>チェック対象文字</mark> , 修正候補							đ
	説字・脱字チェックの結果をここに表示します				「誤字チェック」凡例: <mark>チェック対象文字</mark> ,	修正候補		
121-242					誤字・脱字チェックの結果をここに表示	します		
その他	タイトル 全角20文字以内。							
				施工状況等の写	真 ※写真ファイルには、サイズ300×200程度のGIF形式	またはJPEG形式の画像ファイルを指定してください。		
	効果調査							【施工仲辺笙の写直】
	1 2 3 4 5				写盲1	写画2	写直3	「肥工仏儿寺の与真」
	当該技術に関連しない項目である							新技術に美田壮辺が八か
	コメント 全角1000文字以内。				ファイルをドラッグ&ドロップし てください。または	ファイルをドラッグ&ドロップし てください。または	ファイルをドラッグ&ドロップし てください。または	利我们に活用状ががかか て 空声(佐工県)に 住田
					ファイルを選択「選択されていません	ファイルを選択」選択されていません	ファイルを選択」選択されていません	る与具(旭上仏沅、伊用
					登録済み写真名:	登録済み写真名:	登録演み写真名:	寺)を添付してくたさい。
					※面像サイズは2MBまでのものとしてください。	※画像サイズは2MBまでのものとしてください。	※画像サイズは2MBまでのものとしてください。	
								J
								-
					四古	のケイレッチョフィー	しださい	
					与具	いダイトルを記入して	、くによい。	
	(ホテナエック) ハリ: ナエック対象文子, 修正候補)							
	両子・成子アエックの指手でここに表示します							

確認者用コメント欄について

活用効果調査表(施工者用)



I:『調査項目の効果調査が「1」~「5」』のコメント事例



Ê	効果調査	優れていた点
	従来技術より劣る 同等 従来技術より優れる 01 02 03 04 ●5	■施工日数が短縮したため ▲工程計画が組みやすかったため
	 ○ 当該技術に関連しない項目である □メント 全角1000文字以内。 	 中定工程どおりに進捗したため 加工性が向上したため の取動が減少したため
	工程は、地盤改良に要する日数が、当初8日間を予定していた日程が4日間(1/2)になり、施工日数を短縮できるという理由で非常に優れていた。	□維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため 劣っていた点
	(1項目がいかに優れていたかを具体的にをコメント)	□施工日数が延長したため □工程計画が目みづらかったため
		 ・ ・ ・
		□ 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

🕖 🛯 国土交通省

九州地方整備局















Ⅱ:『調査項目のコメント』を特に重視すべき具体的な事例



B2

以下のような事例では、修正依頼やヒアリングをお願いする場合があります。



◆調査の視点では、優れていた点に多く(4箇所)のチェックが付いているが、効果調査は「4」となっている



多くの項目で優れているが、 それぞれの項目の重みは僅 かであるために、総合的には 「4」となったことが伝わるよう なコメントをお願いします。

Ⅱ:『調査項目のコメント』を特に重視すべき具体的な事例



以下のような事例では、修正依頼やヒアリングをお願いする場合があります。



◆調査の視点では、劣っていた点のチェックが1箇所であるが、効果調査は「1」となっている



劣っていた点が一つで効果 調査が「1」となった具体的な コメントをお願いします。



以下のような事例では、修正依頼やヒアリングをお願いする場合があります。



Ⅳ:『今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか。』の理由事例 🎱 九州地方整備局

理由を必ず記入してください。

く望む。



性が低下するため、コンパクトな機械仕様への技術の改良を強

35



効果調査が「当該技術に関連しない評価項目」の場合
材料費が高価で鉄筋への装着労務が必要となるなど直接的な費用は増加しているが、仕上り後の補修費の有無に対する比較は困難である。
今回、施工対象面積が小さく、従来技術との比較において対象としない。
工程 【コメント】
現場における施工性や施工日数に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。
工程は、施工日数に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。
今回、施工面積が小さく、従来技術との比較において対象としない。
工程は調査の視点に該当がない。
工程は、システムの性質上関係しない。
工程に影響する技術ではないため評価できない。
品質・出来形 【コメント】
丁張り杭の品質・出来形に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。
品質・出来形は該当しない評価項目である。
補修材であり舗装工の品質・出来形に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。
品質・出来形は調査の視点に該当がない。
品質・出来形は、コンクリート構造物の弱点となりやすい打ち継ぎ目の強度低下を防ぐものであるが、今回の施工での確認はできない。
今回、新技術は、現況トンネルの形状把握で用いた為、品質・出来形に関連しない評価項目である。
機材の形態上、当該技術に関連しない評価項目である。

◆NETISシステム操作マニュアル (イントラ 内部向け)◆



国土交通省

九州地方整備局

◆NETISシステム操作マニュアル (九州技術事務所HP)◆



国土交通省

九州地方整備局

NETISシステム操作マニュアル まとめ



1.NETISの改良

・活用効果調査表をWEB画面上で直接入力・登録できます。 (オンライン化)

2.ID、パスワードの申請

・ID、パスワードは1工事、1技術毎に必要となります。

3.新技術活用計画書、実施報告書および活用効果調査表の作成について 3-1.保存について

・120分でタイムアウトするため一時保存を行ってください。

3-2.計画書の作成について(活用前)

・活用等の型を忘れずに選択してください。

・計画書を作成し、「記入完了」に図して登録してください。

3-3.「A」「VR」技術について(活用後)

・実施報告書を作成し、「記入完了」に☑してください。

・すべての項目のコメントを記入してください。(当該技術に関連しない場合も必要)

・活用効果調査表を作成し、「記入完了」に図して登録してください。

3-4.「VE」技術について(活用後)

・実施報告書、活用効果調査表の作成・登録は不要です。

アンケート



本日の説明会に関して、アンケートのご協力をお願いいたします。 スマートフォン・タブレットで、下のQRコードを読み取ってください。 アンケートは、1~2分程度で終わります。

